

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成25年1月24日(2013.1.24)

【公開番号】特開2011-142420(P2011-142420A)

【公開日】平成23年7月21日(2011.7.21)

【年通号数】公開・登録公報2011-029

【出願番号】特願2010-918(P2010-918)

【国際特許分類】

H 0 4 J 11/00 (2006.01)

H 0 4 N 7/173 (2011.01)

H 0 4 B 1/16 (2006.01)

【F I】

H 0 4 J 11/00 Z

H 0 4 N 7/173 6 3 0

H 0 4 B 1/16 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年12月4日(2012.12.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0065

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0065】

また、書き込み制御部32は、TTO同期検出部30から供給されるTTO同期の検出結果に基づいて、Common PLPとData PLPで同期しているTTOが含まれているTSパケットをバッファ31に書き込んだときの書き込みアドレス（以下、TTOアドレスという）と、それらのPLPのTTOの差分（以下、 H_TTO_{diff} という）を取得し、読み出し制御部34に供給する。以下、TTOアドレスと、 H_TTO_{diff} を総称してTTO情報と称する。このTTO情報は、バッファ31に蓄積されたTSパケットを読み出すに際して、Common PLPとData PLPの同期のずれが生じた場合、そのずれを補正するために必要となる補正情報となる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0105

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0105】

したがって、この例の場合には、 $P_{ts} = (ISCR_b - ISCR_a) / (N_packets + DNP) = (3000 [T] - 500 [T]) / 5 [packet] = 500 [T/packet]$ となる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図9

【補正方法】変更

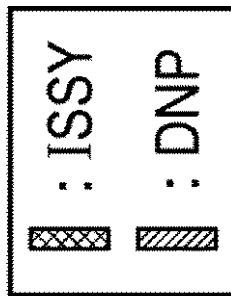
【補正の内容】

入力

Data PLP



Common PLP



出力

TS

